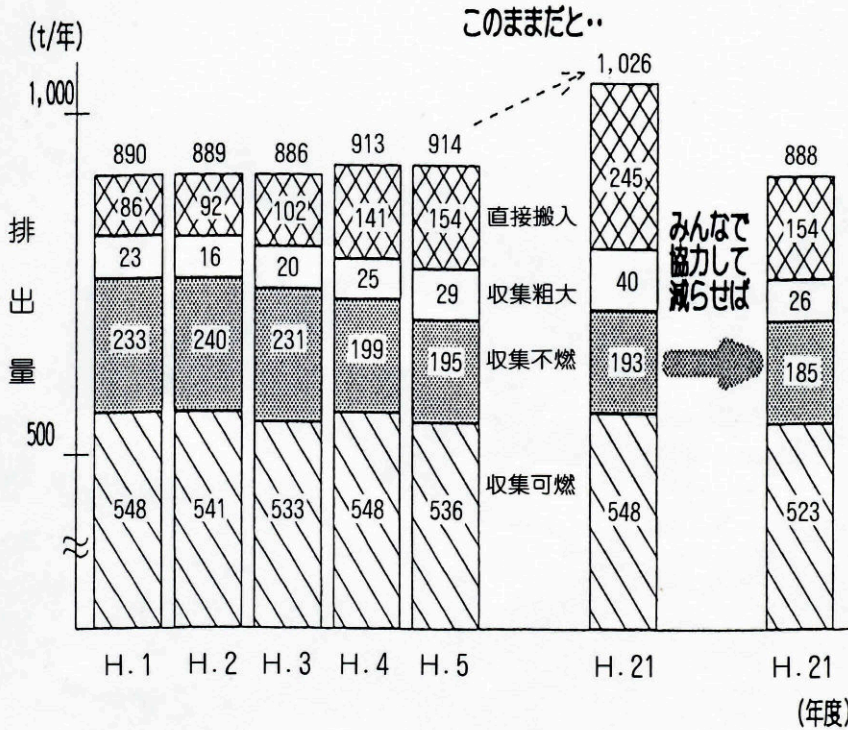


処理について

分ければ資源 ◀◀◀

(平成7年3月策定の三隅町一般廃棄物処理基本計画から抜粋)



「ひと・自然・ものにやさしい三隅町」を目指すために推進すべき施策・事業の基本計画を策定しました。今後本計画をよりどころとして町民・事業者・行政が一体となって具体的計画を策定し、実効ある減量化施策の実行を図っていくものとし

本町のごみ排出量は、町民主体で実施してきたごみ減量対策

◀ごみの排出量▶

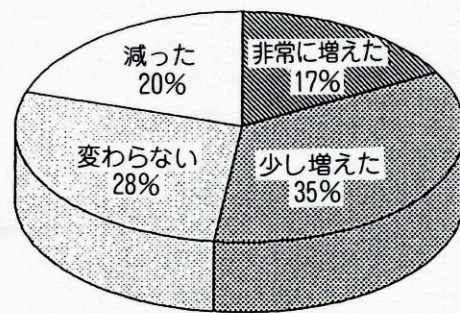
の効果により、収集量は減少傾向にあります。しかし、事業系ごみの増加に伴い、総量ではやや増加しています。

このため、本町のごみ排出量は、平成21年度では平成5年度の12%増の1026t/年となると推計されており、今後、さらにごみ減量に努め、平成21年度のごみ排出量を13%減の888t/年まで抑制することとします。

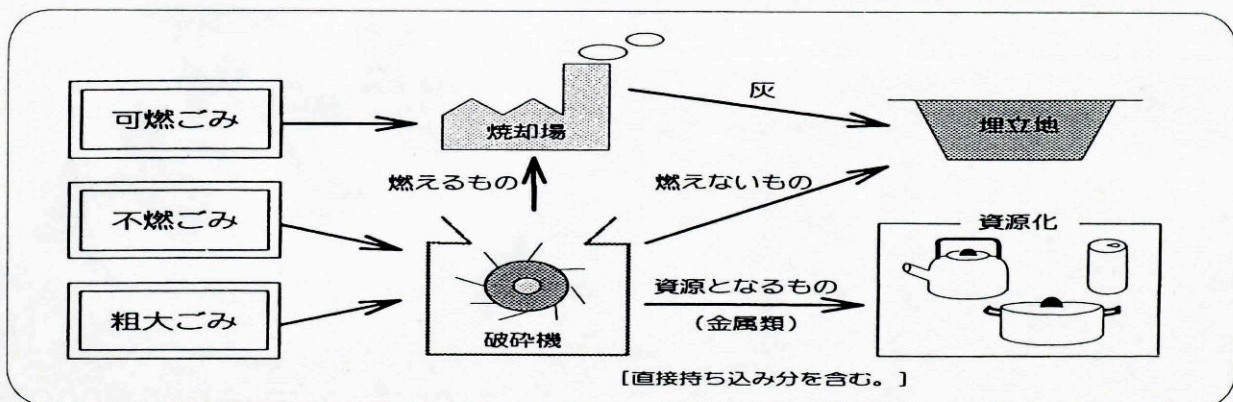
本町から排出されるごみは、広域組合管理の処理施設で処理・処分されています。施設では、アルミ、鉄などの金属類は資源化しています。しかし、紙類やびんについては資源化はできません。新聞紙、ダンボール、びんなどの資源となるものは、ごみに出さないで、集団回収に

◀ごみ処理の流れ▶

半数以上の方は「ごみは増えた」と感じています。排出量が減少しているのは、「自家処理」、「集団回収」での処理が増えているためと考えられます。



町民の方に、現在のお宅のごみ量は5年前と比べて増えたかお聞きしてみました。(平成6年6月町民アンケート調査結果から)



出して資源を有効利用しましょう。